

第1部 令和元年度の主な出来事

第1部では、令和元年（2019年）度（平成31年（2019年）4月～令和2年（2020年）3月）までの海洋に関する主な出来事をまとめています。

平成31年（2019年）

4月

- ・海洋状況表示システム（海しる）運用開始（p.21）
- ・「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」施行（p.13）
- ・小中学校の教員向け「海洋教育プログラム」公開（p.28）
- ・「自然環境保全法」改正により、「沖合海底自然環境保全地域」の指定制度を創設（p.64）



海しる 運用開始

令和元年（2019年）

5月

- ・「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」等の我が国における海洋プラスチックごみ対策関連対応方針の策定等（p.16）
- ・海難等による汚染等損害に関する被害者保護の充実のため「船舶油濁損害賠償保障法」を改正（p.72）

6月

- ・海底探査技術の国際競技大会で GEBCO-日本財団 Alumni Team が優勝、Team KUROSHIO が準優勝（p.24）
- ・中東オマーン湾を航行していた日本関係船舶の被攻撃事案が発生（p.5）
- ・日本が議長国となり G20 大阪サミットを開催。海洋プラスチックごみ対策に関して大阪ブルー・オーシャン・ビジョンを採択し各国と共有（p.15）



G20 大阪サミット
出典：首相官邸ホームページ

7月

- ・31年ぶりに大型鯨類を対象とする捕鯨業を再開（p.14）
- ・「海の日」関連イベントを開催（p.119）
- ・「国連海洋科学の10年」に向けた北太平洋地域ワークショップを開催（p.27）



「海と日本プロジェクト in 晴海」にて、総合開会式が開催された船上劇場「STU48号」

8月

- ・第26回 ASEAN 地域フォーラム（p.43）
- ・第12回海洋立国推進功労者表彰（p.120）

- 9月
- ・北極域ノルウェー・ニーオルスンで新たな観測施設の開所式及び開所記念ワークショップを開催 (p.25)
 - ・第20回北太平洋海上保安フォーラムサミットを開催 (p.46)



ニーオルスン観測施設
提供：国立極地研究所

- 10月
- ・大和堆で水産庁漁業取締船と北朝鮮籍とみられる漁船が接触 (p.8)
 - ・G20 資源効率性対話・G20 海洋プラスチックごみ対策実施枠組フォローアップ会合 (p.16)
 - ・第6回アワオーシャン会合 (p.106)
 - ・三次元物理探査船「たんさ」の就航記念式を開催 (p.10)



三次元物理探査船「たんさ」
提供：JOGMEC

- 11月
- ・ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動の延長を決定 (p.41)
 - ・北極評議会高級北極実務者会合にて第3回北極科学大臣会合の東京開催予定等を報告 (p.104)
 - ・第2回世界海上保安機関長官級会合を開催 (p.7)



北極評議会高級北極実務者会合
提供：外務省

- 12月
- ・昨年に引き続き「荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る有識者検討会」を開催 (p.9)
 - ・「中東地域における日本関係船舶の安全確保に関する政府の取組について」を閣議決定 (p.5)
 - ・長崎県五島市沖を海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域に指定 (p.13)

令和2年(2020年)

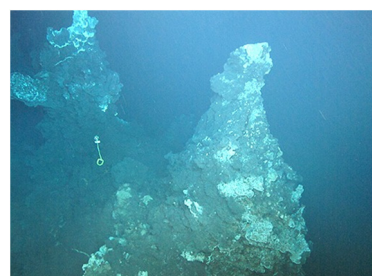
- 1月
- ・防衛大臣が、自衛隊による中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動の実施を命令 (p.6)
 - ・大型測量船「平洋」就役 (p.23)



自衛隊の中東派遣

- 2月
- ・新型コロナウイルス感染症対応で、横浜港でクルーズ船の検疫を実施 (p.3)
 - ・「港湾法の一部を改正する法律」施行 (p.13・p.58)

- 3月
- ・護衛艦「まや」、潜水艦「おうりゅう」就役 (p.29)
 - ・海底熱水鉱床「天美サイト」を確認 (p.48)
 - ・瀬戸内海における今後の環境保全の方策の在り方について答申 (p.75)



天美サイト
提供：JOGMEC